

自己評価票

- 自己評価は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目(例えば、下記項目のⅡやⅢ等)から始めて下さい。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したのものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
V. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

○記入方法

【取り組みの事実】

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

【取り組んでいきたい項目】

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

【取り組んでいきたい内容】

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】(アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(No.1からNo.87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(No.88からNo.100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	グループホーム ケアクオリティ 桜の詩
(ユニット名)	1階
所在地 (県・市町村名)	静岡県清水区船越町13番地
記入者名 (管理者)	後藤克恵
記入日	平成 21 年 8 月 28 日

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	私達のご利用者様に笑顔の絶えない明るい毎日を支援し続けますと掲げている。又職員全員で理念を見直し、地域との関わりをもって暮らし続けるための理念を作っている	地域の夏祭り、防災訓練、敬老会等、地域の行事に参加している
2	<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	玄関ホール・各フロアーに理念を掲示し日々取り組んでいる	理念を実践していく上で、どういった内容が達成に繋がるか、より具体的な内容を検討している
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	玄関ホールに掲示し、家族や地域の方々にわかりやすく説明している	毎月ホーム便りに行事や写真を掲載し発行している
2. 地域との支えあい			
4	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	公園に散歩される方が多く、気軽に立ち寄れるように建物周囲に花などを植えて明るい雰囲気作りをしています	左記継続実行中
5	<p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	側溝清掃、ビンカン当番など自治会に加入し、積極的に行事に参加し、地域の人たちとの交流に努めています	○ 敷地内に掲示板を設置し、ホームを理解頂けるよう行事など公開していきたい

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域の高齢者の為に出来る事は話し合いをしている		左記継続実行中
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の評価結果を元に、業務の見直しや良い介護に繋がる話し合いを行いました		
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的に運営推進会議を実施し、地域住民、家族代表、地域他職種等にサービスの実際を報告し、ご意見を伺いサービスの向上に努めている		左記継続実行中
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	催事・講習など積極的な参加を心掛けている		左記継続実行中
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	必要な入居者様に対しては活用できるよう支援しています		個々が理解出来るよう勉強会を継続していきたい
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	内部研修を行い職員同士が声を掛け合い、見過ごしのないよう注意している		勉強会以外の場でも常に話し合いが出来るように努めたい

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約前にご自宅に伺うなど、面談をしています。理解いただけるよう十分な説明を心掛けています	入居後は、こちらから声を掛けご家族と話す機会をつくります
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	入居者が気軽に不満・苦情が言える関係作りを心がけている。	左記継続実行中
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月の通信誌や月次報告書、預かり金報告書をご家族に送付している。また面会時には近況報告をしています。職員の入職・移動は報告している。	左記継続実行中
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関ホールにご意見箱を設置している。入居時には家族に直接意見を伺えるよう説明している。また苦情等があった場合は、即座に会議をしている	
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎日の申し送りの場や定例会、個人面談などで話し合い、管理者会等で職員の意見を伝えている	○ 意見や提案を積極的に言える雰囲気づくりをしたい
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	入居者の外出や受診など可能な限り調整し柔軟な対応をしている	左記継続実行中
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	ホームの移動は現在までないが、ホーム職員は入居者様全体の支援を考えてフロア間の移動は行い、他階の入居者様に声掛けをしている。離職者は最小限に抑える努力をしている	左記継続実行中

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	入職者は全員社内研修を受講している。外部・内部研修に参加機会を順に設けている。受講内容はホーム内で勉強会を開き、職員全員に広め日常の介護に役立てている。	
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者・職員は同業者や知り合いを通しネットワーク作りをし、同社の他ホームと交流しサービスの向上に努めている	
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	管理者・職員は定期・不定期に面談の機会を作り、労働環境の改善に取り組んでいる	○ ストレスの少ない、働きやすい環境づくりを心掛けたい
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	健康管理を重視し、職員の希望に添い余裕をもった勤務表作りを心掛けている	
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居前に自宅訪問を行い、自宅での生活の様子観察すると共に率直な意見を伺い不安なく入居いただくよう努めている	
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	施設内見学を行い日常の生活の様子を見ていただく。その上で質問や不安なことなどを伺い納得されるまで話し合いの機会を設ける	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居前に面接を行い聞き取りをし、説明を十分に行っている		これまでの利用サービスの状況を確認したり、担当ケアマネより情報提供を依頼している
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	体験入居を行っている。職員との会話や入居者様同士の関わりを支援し、馴染めるよう家族とも話し合っている		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	人生の先輩として尊敬の念を持って接することを心掛けている		
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族会や面会時にご家族の意見や、ホームに対する希望などを伺い、本人に取ってより良い支援を心掛けている		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	気軽に面接に来ていただけるように、またゆつくりと過ごして頂けるように心掛けている		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族以外の方にも気軽に面会に来ていただき、また個々に外出の機会を作って頂いたり、季節のたよりを送るお手伝いをしています		ご本人の希望により電話で会話する支援を行っている
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	職員は入居者様同士が円滑にコミュニケーション出来るよう支援しています		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	相談等があれば、いつでも対応できる		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ケアプラン作成時や見直しの時は本人の希望や意向を聞き、家族とも相談している		左記継続実行中
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前のケアマネからの情報提供を依頼し、家族や本人からも聞き取り把握に努めている		情報収集した内容は、これからの支援に活用している
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	バイタルチェック・水分量・食事量・排泄状況等を記録・観察し、身体の状態を把握している。訪問看護・主治医からの情報も職員全員が把握に努めている		職員一同が日々の申し送り・介護記録の記入の徹底に努めている
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	入居者様一人ひとりに担当の職員を配置し充実した支援を心掛けている。ケアカンファレンスで情報交換し、計画作成時に活用している		左記継続実行中
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は期間に応じて見直しを行い、ご本人の状態が変化した場合にご家族と話し合い計画を見直し、変更をしている		左記継続実行中

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日の生活記録を個別に行い、各勤務者に申し送りを徹底し、職員連絡ノートを活用して情報を共有し、計画作成や介護の実践に役立っている		左記継続実行中
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	個々の外出や突然の受診などにも対応しています。外食やカラオケに出掛け、納涼会で花火を楽しむなどその時々に応じた支援をしています		状況に応じた対応を心掛けています
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	歌や踊り・お話し相手・行事のお手伝いなどボランティアの活用。交番の警察官の協力支援。運営推進会議には民生委員さんや町内会の方に出席頂いています	○	今後も地域の方々の協力を呼びかけていきます
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	他事業所の施設見学や生涯学習センターの稽古事・図書室などの利用。ご本人・ご家族の意向に応じて対応している。		他サービスの利用希望や相談に応じている
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議への出席や地域住民の相談等で連携している		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	毎月1回かかりつけ医による往診を実施している。健康診断の施行や生活相談等に応じていただいている		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	ホームドクター、主治医に相談し専門医等の紹介の支援をしている。家族と受診同行も行っている		病状の様子観察を継続し的確な治療が受けられるよう情報収集に努めている
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	週1回の訪問看護により日常の健康管理に努めている		訪問看護師と連携し情報を共有している
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院先の医師・ソーシャルワーカーと情報交換し的確な治療や療養が出来るよう心掛けています		
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居時に家族と話し合い説明している。マニュアルを設置し医師・訪問看護師・家族の協力と指導により穏やかな生活を送る事が出来るよう心掛けている		健康管理に留意し家族の意向に添えるように努めます
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	利用者・ご家族の尊厳を重視し、かかりつけ医・訪問看護師と連携し支援していきます		
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	書類上だけでなく、関係者との連絡を密に取り、ご本人の負担の軽減に努めます		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	入居者様への言葉かけや対応は自尊心やプライバシーを損ねないよう支援しています。個人記録等の管理にも注意しています	
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援している	入居者様とのさり気ない会話の中で本人の希望や思いなどを聞き取れるように努めています。決定事項は本人の意思に任せ対応している。	
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	出来るだけ本人の希望に添って対応し、本人の暮らし方にあわせた支援を心掛けています	
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	本人の望むお店に職員や家族が同行している。2ヶ月に1度ボランティアで美容師さんがカットに来てくれています。又行事や外出では希望によりお化粧品や洋服選びの支援をしています	左記継続実行中
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	調理の下ごしらえ、食器拭き、片付けなど個々の能力に合わせて、手伝いをお願いしています。外食や好きなメニューを選んで食事を楽しんでいます。	音楽を流し、職員も一緒に席に付き会話をしながら食事をしています
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	嗜好品の管理は個々の能力に合わせて個人や職員が行い、居室で召し上がって頂いていますが、おやつなどはホールで皆様と頂きます	季節に合わせたデザート・おやつ作りをしています

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄表を作成し、排尿・排便を時間ごとに記録し、職員が個々の排泄パターンの把握に努めている。記録を活用し、声かけや誘導、水分摂取量の調節を行っている		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	夏期はシャワー浴を取り入れ入浴回数を増やしている。体調や面会・外出にあわせ変更している。個々に洗髪、陰部洗浄等に対応している		外気浴をしながら4～5名で足浴を楽しみ、茶殻を煮出し、水虫対策の足浴も行っている
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	ホールと居室の温度差に注意し、好みや体質に合わせたエアコンの管理設定をしている。昼食後は短時間の昼寝を勧めている		左記継続実行中
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	個々の能力や体調にあわせ職員のお手伝いをお願いしている。レクリエーション、絵画、手紙、新聞の見出し書きなど毎日行っている		左記継続実行中
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	一部の方は通院や外出時に財布を持ち、買い物・支払いをしている。他はホーム管理の預かり金を持ち、支払いは個人で行っている		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	車でホームの買い物のお手伝い、個人の買い物、散歩や外気浴など支援している		左記継続実行中
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	誕生日には個別に対応し、本人の希望する場所にドライブし、好みのものを外食しています。外出行事は季節に合わせて計画をし、家族をお誘いして、入居者全員で出掛けています		左記継続実行中

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	年賀状、暑中見舞いなど季節に合わせて家族や知人に送り、喜ばれています。電話など外部との交流の支援をしています		左記継続実行中
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	外出行事にご家族の参加を呼びかけ、ほぼ毎月行われている行事や花見、納涼会、秋祭りなどには、気軽に訪問頂けるように努めています		職員が笑顔で出迎えるように努めています
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	入居者の安全・安心を第一に、職員一丸となり見守りを徹底し、身体拘束をしないケアに努めています		左記継続実行中
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵を掛けることの弊害を理解し、夜間のみ玄関の施錠を行っています。徘徊等の行動に対しては見守りで対応しています		左記継続実行中
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	入居者の安全・安心を第一に、入居者のプライバシーを守りながら見守りを徹底し、安全な生活を支援しています		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	一人ひとりの身体機能の状態に合わせた危険防止や不安・混乱・失敗を招く事のない環境や物品について検討し工夫している		左記継続実行中
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	事故対策委員を独自に設け職員の連絡を密にし、日々知識を磨き事故防止に取り組んでいる		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	AED使用法・救急法の講習を受けている。毎日の申し送り時に話し合われている。		
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	防災係りを決め防災会議を開催している。防災点検表で毎日点検をしている。定期的に消防署の協力で防災訓練を行い、家族や地域の方々にも参加を依頼している		
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	月次報告書を個々に作成し、本人の生活の様子や体調の変化等をお知らせしている。毎月医師の往診や訪問看護師の指導を受け、状況の変化を家族に説明し対応している		左記継続実行中
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日定時にバイタルチェックを入居者全員行ない、異常値等には再度チェックし様子観察をしている。急変時には訪問看護ステーション・主治医に連絡し指示をうけている		左記継続実行中
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方された薬は個々に服薬表にし把握している。疑問・相談などは指定の薬剤師に問合せしている。症状の変化を記録し申し送りし職員全員が状況把握に努めている		左記継続実行中
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	個々に排泄を記録し職員全員が把握し、飲み物や運動等で排泄を促す工夫をしている。また医師・訪問看護師に指示を受けている		左記継続実行中
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後、声掛けし行っている。歯磨き介助や義歯の手入れ、歯科定期受診など支援している		左記継続実行中

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日の食事、水分摂取量を記録し月1回の往診と週1回の訪問看護師に情報提供し、助言・指導を受けている。また献立表は職員全員が目を通し栄養バランスに気をつけている		記入漏れのない様に注意し、職員全員が入居者様の体調の把握を心掛けている
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	公的機関からの通達に(特に新型インフルエンザ)感染症対策委員が、職員に資料を回覧し又新たに資料の作成をし、勉強会開催の参考資料としている		外部研修会に参加し感染症に対する知識の向上に努めている。職員が勤務に付く前の手指消毒・うがいは徹底している
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食材の管理法や調理器具等の衛生管理方法などの注意事項を台所に貼り、職員の意識を高める工夫をしている		ホームから食中毒を出さないよう職員全員が徹底した管理を心掛けている
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関周辺には花や入居者様の手作り作品を飾り親しみやすくしている。庭に季節の花を植え近隣の方や散歩途中の方々にも楽しんで頂ける工夫をしている		花の水掛け、落ち葉の清掃などは、入居者様と一緒にやっている
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の空間は毎日清掃し清潔を心掛けている。ホールには外出時の写真や手作り作品を貼り、楽しかったことを思い出せる工夫をしている		季節感を取り入れて写真や作品は貼り替えている
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	時には変更することもあるが、座り慣れた場所で過ごせる工夫をしている。自由な場所でテレビ観賞や談話できる椅子を設置している		一人ひとりが笑顔で過ごせる環境づくりを心掛けている

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居以前で使い慣れた物を持参頂くようご家族に説明している。使い馴染んだもので心地よい環境づくりを心掛けている		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	常に換気扇を使いホーム内の換気をしている。居室はエアコンを設置している。換気口や窓の開閉で外気との温度差に注意している		左記継続実行中
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ホームはバリアフリー建てられ、ホール、トイレは手摺りが付いている。個々に補助具を使い、見守りにより安全な生活を支援している		左記継続実行中
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	ご本人の出来る事を声掛けし、職員と共に行っている		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	ベランダが広いの日光浴・足浴・体操を、庭の畑では花や野菜の栽培、玄関前では外気浴を楽しんでいます。		左記継続実行中

V. サービスの成果に関する項目	
項目	最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。
88 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者の
	<input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいの
	<input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいの
	<input type="radio"/> ④ほとんど掴んでいない
89 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/> ①毎日ある
	<input type="radio"/> ②数日に1回程度ある
	<input type="radio"/> ③たまにある
	<input type="radio"/> ④ほとんどない
90 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> ④ほとんどいない
91 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> ④ほとんどいない
92 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> ④ほとんどいない
93 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> ④ほとんどいない
94 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> ④ほとんどいない
95 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族と
	<input type="radio"/> ②家族の2/3くらいと
	<input type="radio"/> ③家族の1/3くらいと
	<input type="radio"/> ④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
		○	③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている		①大いに増えている
			②少しずつ増えている
		○	③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

開所して三年が過ぎ、開所時からの職員も多く入居者様も安心して生活して頂いていると思います。外出や行事企画も増え楽しんで過ごせていると思います。

ご家族様にも毎月、入居者の様子が綴られた『桜の詩通信』や月次報告書を送っています。

協力医による往診や訪問看護師の導入で健康管理面での充実で職員も安定した介護サービスが提供できると思っています